

(様式5 実施結果の公表)

桜川市長期人口ビジョン（案）  
桜川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）  
のパブリックコメントの実施結果

平成 28 年 5 月 15 日

桜川市 総合戦略室

## ■意見集計結果

平成28年2月22日から3月14日までの間、桜川市長期人口ビジョン（案）及び桜川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、意見募集を行なった結果、6人から39件の意見の提出がありました。

これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考えをまとめましたので公表します。

提出方法の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数
直接持参	1人
郵便	3人
電子メール	2人
合計	6人

提出意見の分類は、以下のとおりです。

項目	項目分類	件数
人口ビジョン	人-1 将来展望について	1
総合戦略	総-1 総合戦略全般について	6
	総-2 目指す将来像について	2
	総-3 基本目標について	4
	総-4 稼ぐ農業づくり推進プロジェクトについて	6
	総-5 地域DMO形成プロジェクトについて	9
	総-6 生涯活躍のまちプロジェクトについて	1
	総-7 集落自治推進プロジェクトについて	10

■意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ 桜川市長期人口ビジョン について

意見 件数	項目 分類	提出された意見の概要	提出された意見に対する 市の考え方
1	人 - 1	2040年の目標人口 33,000人は、現状から非常に難しく、高いハードルだと思います。	高い目標値となっていますが、施策を組織横断的に取り組みながら、33,000人を目指してまいります。

○ 総合戦略 について

意見 件数	項目 分類	提出された意見の概要	提出された意見に対する 市の考え方
1	総 - 1	横文字、カタカナが多く、全体として分かりづらい内容です(DMO、CCRC、MOUなど)。平たく、分かり易くすべきだと思います。	分かり易い言葉に置き換えるよう検討してまいります。
2	総 - 1	地域や各分野においていろいろなことが問題となってきますので、それに対してどう対応していくべきなのかということが大切であり、計画の考え方のベースにすべきではないでしょうか。	課題を解決するための基本目標を定め、各施策とその下に事業を位置づけることで対応してまいります。
3	総 - 1	施策を明確に、PDCAを回し、実績を踏まえ、着実な対応を図ってほしいと思います。	施策をより明確にすると共に、事務事業をしっかりと行ってまいります。
4	総 - 1	しごと創生と言いながら、雇用創出(企業誘致等)の記載が少ないのではないのでしょうか。	農業の担い手支援や生涯活躍のまちづくりを進め、雇用創出を進めてまいります。
5	総 - 1	評価に市民の生の声を反映するようにしていただきたいと思っています。市民の実感の無いまちづくりでは成功しないと思います。	総合戦略に位置付ける具体的な施策・事業の評価については、広く市民に公表し、市民の皆様の意見をいただき反映してまいります。

6	総 - 1	事務事業について、どのような分担で実施するのか、取り組みを明確にして推進することが必要だと思います。	事務事業ごとに、総括と担当課を設け、官学金労言の連携先と協働しながら実施してまいります。
7	総 - 2	「ヤマザクラの里」の視点は大変良いと思いますが、再生してどういう地域にしたいのでしょうか。まちづくりや地域づくりとの繋がりを加えないと、地方創生の将来像にならないのではないのでしょうか。	ヤマザクラの里のイメージを定着させ、交流人口の拡大や桜川ファンをつくり、移住・定住のまちづくりを進めてまいります。
8	総 - 2	外観を対外的に宣伝するだけのキャッチコピーのようで、まちにどのような変革をもたらしたいのか、具体性がなく、分かりません。	ヤマザクラの里として、市民への意識醸成と市外への発信を行うと共に、ヤマザクラと地域資源を組み合わせることにより、仕事づくりや交流人口の拡大を進めてまいります。
9	総 - 3	基本目標の取り組み時の KPI が明記されていません。H31 の目標値の妥当性の検証ができません。	取り組み時の KPI を明記いたします。
10	総 - 3	交流人口を増やすためにも、研修、交流、合宿などで利用できる、学生のための宿泊施設をぜひ作ってほしいと思います。ここでは、桜川市産の農畜物・加工品を提供していただきたいです。事業団による管理、運営によって、市民に関心をもってもらい、見守ってもらえるような施設になればと思います。	既存施設や空き家の利活用を考える中で検討してまいります。また、その場所が子どもからお年寄りまでの交流の場になるよう進めてまいります。

11	総 - 3	子育てしやすいまちをつくるため、産科と小児科は絶対必要です。市立病院の診療科に産科が必要だと、反対している方々にも強く訴えてほしいと思います。そして、今からそれらの診療科の医師確保に奔走してほしいです。	市立病院の診療科目及び医師については、新中核病院との調整もあり、ご意見として承ります。
12	総 - 3	まちづくりの方向性として「次世代の成長を育むまちづくり」を考えていただきたいと思います。元気な子ども達の声を知りたいと、市民が思えるまちになってほしいと思います。	若者層の移住・定住を促進し、結婚・出産の好循環づくりを進めてまいります。
13	総 - 4	今後、ますます農業・農村が荒廃化していくのが懸念されます。農地を受け、農業経営を担ってくれる「受け皿整備」が重要であり、担い手として、今の認定農業者だけでは十分でなく、農協や農業生産法人等が農業経営を組織的に担えるようなシステムづくり、育成・支援が必要なのではないでしょうか。	農協や農業生産法人等との連携を考えながら、まずは、農業の担い手、新規就農者を育成・支援してまいります。
14	総 - 4	新たな農地の守り人づくりには期待しています。こういった施策の方向性を出していただきたいと思います。	農業の担い手を育成していくと共に、新規就農者を支援してまいります。
15	総 - 4	「農業の先進的技術、新規品目や新品種等の開発・栽培」にチャレンジしている人達に支援できるような取り組みをしていただきたいと思います。	農業マイスターを認定する組織を立ち上げ、農産品の高付加価値化やブランド化を進めることで支援してまいります。

16	総 - 4	農産物新規販路開拓事業において、流通業者や食品加工会社等の農商工連携の推進により販路拡大、外食業での地元素材の利用拡大をお願いしたい。	流通業者や食品加工会社等との連携を検討してまいります。また、外食産業との商談等を支援してまいります。
17	総 - 4	観光体験型農業を取り入れたり、お土産として加工食品やふるさと納税返礼品などの開発により、農業の活性化に励んでいただきたいと思ひます。	農業体験プログラム、農業実習、食育講座、加工品の開発および魅力化に取り組んでいきます。また、農産品のブランド化、PRによって、ふるさと納税に繋げてまいります。
18	総 - 4	市内の良いところ、おいしい野菜等を宣伝、コマーシャル化してほしいと思ひます。市役所でも一緒に、新聞、テレビ、雑誌、スマホ、パソコンなどで宣伝していただくはどうか	農産品の PR 手法の開発とツールの作成を検討してまいります。
19	総 - 5	施策項目がそれぞれ〇〇の活用となっていますが、活用してどういふ施策を行うのかまで記述しないと、不十分ではないでしょうか。	各施策について、どのように進めていくか記載いたします。
20	総 - 5	現状分析のうえで、中長期を含む観光基本計画の策定をお願いしたい。	DMOに参画した市民を中心に観光計画をまとめてまいります。
21	総 - 5	真壁の町並み整備とひな祭りの実績は素晴らしいと思ひます。秋にも集客できる仕掛けがあると、もっと素晴らしいまちになると思ひます。	市民を中心にした新たなまちづくりを支援してまいります。

22	総 - 5	現在、発掘が進められている真壁城跡を整備・活用して、周遊させられたらと思います。検討委員会等を立ち上げて、活用の検討に入ってほしいと思います。	真壁城跡は引き続き整備検討委員会で検討を進めてまいります。
23	総 - 5	りんりんロード、関東の道、桜川、上野沼、山桜などの資源を活用して、健康志向・自然体験型の来訪者を呼び込み、地域の活性化を図る仕掛けをつくっていくことが必要だと思います。	つくばりんりんロードを軸とした観光ルートやサービス開発を行うと共に、食、お土産品開発により、地域経済の活性化に繋げてまいります。
24	総 - 5	高峯、雨巻山、富谷山、山麓ハイキングコースの創造をしてみたいかかでしょうか。また、雨巻山、高峯の登山にも取り組んでほしいと思います。	山の資源を活かし、四季を通して山遊びを楽しめるプログラムを開発してまいります。
25	総 - 5	桜川市のみではなく、益子町や茂木町までを組み込んだツアーを東京に売り込んでみてはいかがでしょうか。	近隣市と連携による観光ツアー等も検討してまいります。
26	総 - 5	今後、日本の風習風土に興味が向かうと思いますので、里山里地を観光化していただきたいと思っています。	DMOにおいて、当市が有する自然環境等の固有資源を活かした観光の基盤整備、サービス開発などを行ってまいります。
27	総 - 5	地域活性化の話ができる場を作ってほしいと思います。また、地域の実例を交換する地域連絡会をつくることも大切だと思います。	DMOをつくり、参画した市民が定期的に意見交換ができる場を作ってまいります。

28	総 - 6	音楽的催しが、各種団体で個々バラバラに、思いつきで実施されており、魅力が感じられません。	市では秋に各種団体が参加する音楽祭を実施しております。
29	総 - 7	集落自治という言葉でプロジェクトをくくると、概念も一般的ではなく、分かりづらくなります。むしろ、里づくり事業をキーワードに入れた方が分かり易いのではないのでしょうか。	持続可能な暮らしづくりとし、里づくりや住民自治を推進してまいります。
30	総 - 7	ますます人口減少が進む中で、集落で何が課題で、集落に何を期待していくのでしょうか。	コミュニティの希薄化が課題であり、市民による自助・共助のまちづくりを支えてまいります。
31	総 - 7	里づくり事業を有効ならしめるためには、行政側で何らかの仕掛け、支援をしていかないと、対応できないのではないのでしょうか。	市民とともに里づくりの計画をつくり、それらを実現するための活動を支援してまいります。
32	総 - 7	三世代交流自慢会など、新しい形の交流の場を模索してほしいと思います。	市民が交流するイベント等の開催を支援すると共に、既存施設を活用した交流の場づくりを行ってまいります。
33	総 - 7	今後、空き家はさらに増えていきます。空き家が利用される、魅力ある地域づくりが必要だと思います。	魅力ある地域づくりを考えていくと共に、空き家が利活用できるよう検討してまいります。
34	総 - 7	つくば市に近い場所(酒寄地区等)に住宅団地を低価格で提供してみてもどうでしょうか。	市内全域にある空き家の利活用を検討していく中で対応してまいります。



35	総 - 7	過疎化への意識向上のため、過疎化に関する連続講演会を開催してほしいと思います。	桜川市人口ビジョンによる大字ごとの人口推計データ等を周知することで、人口減少を身近なものとして捉えていただくと共に、先進事例を学ぶ講演会を開催し、市民意識を高めてまいります。
36	総 - 7	やねだんや海士町など、全国の活動を紹介してほしいと思います。	講演会などにより、全国の先進事例を学ぶ機会を創出してまいります。
37	総 - 7	各地域のパンフレット競争や、活性化活動利益金競争に補助金を入れてみてはどうでしょうか。	総合戦略は市民と行政が連携して行う事業であり、補助金を出すという性質のものではありませんが、総合戦略に位置づけた事業は交付金等を活用して、市民と共に事業に取り組んでまいります。
38	総 - 7	高校生を持つ家族に対して、高校への送迎が大変であることから、公共交通や資金援助を考えてほしいと思います。	近隣自治体と連携しながら、市内公共交通網の整備を検討していきたいと考えております。